

松山・平澤友好協会 会報

Vol.21
2020

松山ーソウル線 チェジュ航空運航情報

松山ーソウル線のチェジュ航空2020年夏ダイヤは、下記のとおりです。

■2020年夏ダイヤ 週3便(火・木・日)
(運航スケジュール期間: 2020年3月29日(日)~2020年10月24日(土))

運航区間	便名	出発時間	到着時間	曜日	機材
松山ーソウル(仁川)	7C1704	ソウル(仁川) 13:05	松山 14:35	火・木・日曜日	B737 (800)
	7C1703	松山 15:35	ソウル(仁川) 16:50		

※両国のスロット等の許可の状況により、スケジュールが変更となる可能性があります。

チェジュ航空はお得いっぱい!

2019年に新たにオープンした「JJラウンジ」。利用券(25,000W=約2,500円)を購入すると利用できます。JJ FOODゾーンのフードやドリンクは食べ飲み放題。食事をしながら、ゆっくりと出発までの時間を過ごせます。

チェジュ航空が運営するホテル「ホリデイ・イン・エクスプレス」は、弘大入口駅5番口から徒歩1分!スタイリッシュなデザインで、快適に過ごせます。さらにホテルと同じ建物にはショッピングモールもあり買い物も楽しめます。

最新の運航スケジュールなどは、
チェジュ航空公式ホームページ
(<http://www.jejuair.net>)をご確認ください。



詳しくはチェジュ航空の
サイトにアクセス



令和2年2月26日(水)現在の情報です。
最新の情報はチェジュ航空公式ホームページ(<http://www.jejuair.net>)をご確認ください。

松山空港国際線を利用するとお得!

初めての海外旅行応援キャンペーン

松山空港国際線を往復利用する海外旅行商品の購入時に使用できる**5,000円クーポン券**を配布中。対象は現在愛媛県内にお住まいで海外旅行に行ったことがなくパスポートを新規で取得された小学生~29歳の方です。クーポンのご利用にあたっては事前に旅行商品を購入する店舗にお問い合わせください(愛媛県外の店舗では利用できません)。

コナパーキング駐車料金割引キャンペーン

コナパーキング駐車料金を**3,000円**(愛媛県外及び四国中央市在住者は、5,000円)まで割引。ソウル線、上海線、台北線を往復利用する方が対象。松山空港の国際線カウンターで「コナパーキング駐車券」を確認したうえで、割引券をお渡ししていただきます。

松山空港国際線団体利用助成

ソウル線、上海線、台北線を利用して、海外で文化・芸術・スポーツ・経済など多様な分野で国際交流を行う愛媛県内の10名以上の団体に**交流経費の補助**を行っています。

	高校等	大学生・短大生・ 専門学校生等による団体	その他の民間団体
1人当たりの 助成限度額	6,000円 (片道利用は3,000円) ※学生・生徒以外の引率者は 助成対象外。	6,000円 (片道利用は3,000円) ※団体の構成員に生徒・学生以外の者 を含む場合は、その者は4,000円。研修旅行 において、自己負担額が助成限度額を 超えない場合は支給なし。	4,000円 (片道利用は2,000円)
団体 助成限度額	上限なし	30万円 (片道利用は15万円)	20万円 (片道利用は10万円)

詳細な利用対象・条件やキャンペーンに関するお問合せは松山空港利用促進協議会ホームページをご確認ください。

**ただ今、
会員
募集中!!**

あなたも韓国・平澤市と友好を深めませんか?
韓国や平澤市について関心のある方や、
交流してみたいと思っている方は、ぜひご入会ください!
★入会ご希望の方は、下記連絡先までご連絡ください。入会申込書と納付書をお送りします。

年会費	個人会員	1口	2,000円
	団体・法人会員	1口	5,000円

〒790-0003 愛媛県松山市三番町6丁目4番地20 まつやま国際交流センター内
TEL089-943-2025/070-5356-0403(協会活動申込・お問合せ)
FAX089-931-2041 E-mail matsu.hira.kyokukai@gmail.com

ホームページ

発行/松山・平澤友好協会

交流会マダン

令和2年1月26日(日)コムズ調理室において、一般参加者27名とハングル講座講師の張英淑(チャン・ヨンスク)先生、韓国留学生も交え、韓国の名節(ミョンジョル)に食べる料理を作りました。一般参加者の中には県の国際交流員も来られました。

ミョンジョルとは韓国の民族的な祝祭日、お正月や秋夕(日本で言うお盆)のことです。マンドウトック、サンジョクコチ、ソンプيون(松餅)、もやしのナムルの4種類の料理に挑戦しました。それぞれ料理別のコーナーを作り全員が回っている料理作りを体験しました。

マンドゥは日本でいう餃子のようなもので、中に豆腐を入れるのにはびっくりしました。日本と違って端と端をつなげて丸く作ります。トックは韓国のお餅が入ったスープで、今回はマンドゥも入れました。とてもやさしい味で美味しかったです。

留学生は「お正月(旧正月1月24日から3日間)に帰れなかったのが、今日食べることができて良かったなあ」と言っていました。

サンジョクコチは野菜、お肉(今回はかにかまでしたが)を串に刺して小麦粉、卵液をつけてフライパンで焼く料理です。ソンプيونは米粉を使って中に餡を入れて蒸して作る料理です。ごま餡とさつま芋の餡を入れて作りました。ほんのり甘くて美味しかったです。皆で和気あいあいと楽しく作っておしゃべりもはずんであつという間の2時間でした。今回の料理マンドウトックやソンプيونは先日、平澤市を訪問した時に平澤国際交流協会の方々から教わったもので、こうして松山で会員の方々へと再現できて本当に嬉しく思います。この活動を韓国にいる平澤国際交流協会の方々に伝えたとこ、彼らも喜んでおられました。(運営部: E.T.)



ソンプيون(松餅)のレシピ

マダンで作った料理の一部のレシピをご紹介します!

材料(20個分)

○生地

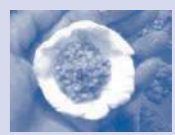
- ・米粉120gともち粉120gを合わせた粉(またはだんご粉240g)・・・A
- ・ぬるま湯90~100mlほど
- ・塩少々
- ・よもぎ粉、かぼちゃの粉、紫芋の粉など適量
- ・ごま油(仕上げ用)

○餡

- ごま餡
 - ・すりごま40g
 - ・ハチミツ、三温糖 各大さじ1
- 小豆餡(今回は市販)

作り方

- ① Aとぬるま湯は、それぞれ半分ずつにわけると。ひとつのボールに半量のAと塩少々を加え、ぬるま湯は少しずつ加減しながら加えて耳たぶぐらいの固さになるまでこねて、ラップをして30分程度寝かせる。
- ② 残った半量のAにもぎ粉など(今回は紫芋の粉)をよく混ぜ、ぬるま湯、塩少々を加え耳たぶぐらいの固さになるまでこねて、ラップをして30分程度寝かせる。 ※①②のぬるま湯の量は粉の種類や温度により違うので加減してください。
- ③ 寝かせている間に餡の材料を合わせて、ごま餡と小豆餡を合計20個に丸めておく。(ごま餡10個、小豆餡10個)
- ④ 寝かせたふたつの生地をそれぞれ10等分にして丸める。
- ⑤ 丸めた生地を平たくのばし、餡を中に入れて、空気が入らないように包み、半月の形にする。 ※餡が大きいと包むときにはみ出るので生地と餡の大きさに気を付ける。
- ⑥ 蒸し器に濡れ布巾を敷き強火で加熱し、湯気が上がった後、餅と餡ができるだけくっつかないように並べ、15分程度蒸す。
- ⑦ 鍋から取り出してあら熱を取り、仕上げにごま油を塗る(つやが出てきれい)。



令和元年度 定期総会

開催日:令和元年5月19日(日) 場所:コムズ会議室

会員・役員の方々の出席のもと定期総会を開催し、平成30年度の事業報告・収支決算報告並びに令和元年度の事業計画・収支予算が承認されました。

また、チェジュ航空松山支店による松山ーソウル線の説明会を実施し、チェジュ航空の利用方法や、韓国旅行についての理解を深めました。

帰りには、総会にご参加いただいた方へ韓国の小さなお菓子を運営部で用意し、お土産としてご希望の方にお持ち帰りいただきました。



ハングル講座

●令和元年度前期ハングル講座

開催日:令和元年6月16日(日)、7月7日(日)、7月21日(日)
受講者数:35名

前期は普段中々読むことのない「詩」を勉強しました。短い詩に込められた感情や心を韓国語で解釈することは難しいですが、ゆっくり読み解きながらまた声に出して読みながら韓国の詩を楽しみました。途中でミニイベントをはさみ、勉強だけではなくお楽しみもありながら受講生や留学生がみんな仲良くなりました。おやつホットクを作り、また小さい賞品も出る「松山と平澤のクイズ」は特に熱が入りました。

後期は、読み物と会話に分かれ、その都度自分がしたい方に参加して勉強をしました。少人数のグループで講師の留学生が話す韓国語を間近で聞き、発音が難しいとつくづく実感!でも、頑張っって口の形や息の出し方なども真似をしました。偉人と言われている人の読み物は短いのですが、意味が深く人生の教を韓国語で学びました。

「ほっとひと息」では色とりどりの折り紙で工作にも挑戦、目を凝らし可愛いチョマチョゴリを作りました。出来上がりに満足し「大きなひと息」でした。あっという間に3時間が過ぎ、小さな日韓の交流の勉強広場はいつものように名残惜しい気持ちのうちに終わりの挨拶になりました。(運営部:Y. A.)

●令和元年度後期ハングル講座

開催日:令和元年10月20日(日)、10月27日(日)、11月10日(日)
受講者数:28名



ホットク作り

講義の様子



折り紙

「ノソコリ」トーナメント表

参加した会員の感想

令和元年度前期ハングル講座に初めて参加しました。講座は3回あったのですが、前半1時間ほどいろいろな韓国の詩を勉強しました。

日常生活の中では、詩とふれあう機会はほぼなくて、まして外国の詩はなおさらです。なのでとても新鮮で興味深いものでした。また平澤に関するクイズ、単語ゲームやホットクを作って食べたり、趣味を同じくする人達と楽しいひとときを過ごしました。

そして留学生と交流したことも良い経験であり、忘れられない思い出です。

この度は本当にありがとうございました。

(会員:E. O.)

留学生の感想

・3回全部は参加できませんでしたが、韓国語を学びたい方々の助けができて良かったと思っています。そして日本人との対話ができる機会があつて良かったです。

・韓国に関心を持っている人たちがこんなにもたくさんいることを知らなくて、不思議で、韓国を愛してくださりありがとうございます。

松山市在住の韓国からの留学生の声

「ハングル講座に参加したことについて」

松山市に来てもう9ヶ月が経ちました。私は松山に来る前には日本語の勉強を1年しかしてなかったし、実際、日本人と話しあったこともなかったです。松山市に来たばかりの頃は、日本語で話すどころか、聞き取りさえできませんでした。そうして日本人に韓国語を教える機会を得るようになりました。日本語は自信がありませんでしたが、専攻である韓国語を誰よりも上手に教える自信がありました。そしてこの機会を通じて色々な日本人と話しあえば必ず私の日本語の実力も上がるだろうと思いました。韓国語も教えるし、私も日本語を習う一石二鳥だと思って熱心に参加しました。

実際にハングル講座をしながら、色々な日本人に会ってお互いに話しあいながら日韓のお互いの文化を理解するようになりました。今年、日韓の政治的な関係が悪くなって心配したのとは違って、日本人の方々は政治は政治であるだけと教えてくださいました。熱心に韓国語を習う姿も見せてくださって、とてもありがとうございました。この経験を通じて私の日本語の実力が向上することはもちろん日本人たちとの忘れられない思い出も作れてとても良かったです。

ソン・ガヨン(송가영)

松山市制施行・市議会開設130周年記念式典での表彰

私達、松山・平澤友好協会は令和元年12月15日(日)に行われた松山市制施行・市議会開設130周年記念式典にて、市政功労者として表彰状をいただきました。友好協会発足から15年、どれほど多くの方々のお世話になったことでしょうか。発足当時、手探り状態で協会の運営をされて来られた方々、また会員として参加し一緒に協会行事などを考え実行されて来られた方々、多くの方々のお蔭で今回の表彰状をいただくことができたのだと思います。あらためてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。草の根的な活動で、みんなで楽しく交流をしながらお互いの理解を深めていけるようこれからもご支援、ご協力をお願いいたします。(松山・平澤友好協会 事務局長)



会員からの寄稿

「松山・平澤友好協会活動を通して」

アナウンサーが読む韓国語の本の一節を聞いたのが韓国語勉強のきっかけでした。それから何年経ったでしょう。忘れる程の時が流れた様な気がします。友好協会の会員になり、様々な行事に参加しながら友達も増え楽しみも増えていきました。また運営部にも関わり、これまで「参加」していた行事などを「計画」する側になりました。今まで携わって来られた方々の思いを大事にし、また新しい事にも挑戦したいと思いつつ試行錯誤でした。行事に参加して下さる方々のお蔭で「ハングル講座」も交流会「マダン」も毎回とても楽しい会になりました。

令和元年は友好都市の縁を結び、ちょうど15年の節目の年でした。諸事情により平澤市からの訪問はありませんでしたが、個人的に交流しようとこちらから7名で3泊4日の旅行を計画、そして実行しました。それにあたり何回か打ち合わせを重ねる中で平澤の方の細やかな配慮や温かさを感じていました。そして、実際それは想像を超える温かいもてなしでした。車で送迎、現代美術鑑賞、次世代融合技術研究院の訪問(水原市)、お寺散策、水墨画の体験、そして料理実習などが計画されていました。料理と一緒に作り、その料理と他に準備されていた料理や飲み物で「大歓迎会」をしてくださったのです。多くの平澤国際交流協会の会員さんが来てくださり、私達が韓国語で歌った松山の歌「この街」を、涙を浮かべて聞かれている方もおられました。このような歓迎ぶりに適切な韓国語で充分なお礼が言えたのかどうか?長年の勉強はこの時ばかりは役にたちませんでした。こうして私達の個人的な小さな訪問は思い出深い旅となりました。

姉妹都市、友好都市等多くの交流団体がありますが、立派な文言や決まりがあつても、結局は個人個人の気持ちのつながりがないと続けていくことはできないとあらためて感じました。最近では韓国語の勉強を中学生や高校生がしていると聞きます。若い世代がお互いの理解を深め、国は違ってもみんな友達と思える社会になれば嬉しいです。

これから20周年記念へと一年一年を大事にしながら、人と人との直接的な交流を通じて信頼関係の強い松山・平澤友好協会にしていきたいと思っています。これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。(運営部:Y. A.)